

## 編集後記

羅針盤…方位磁針は、中国で最初に使われたのではとされている。中国の方位磁針は二十四方位であったが、のちに現在と同じ三十二方位に改められた。西アジア、ヨーロッパには、双方と交易を行っていたペルシア人によって伝えられたと考えられている。方位磁石のヨーロッパへの伝来と改良によって、航海術は著しく発達し、大航海時代が始まった。

A ship in a harbor is safe, but that's not what ships are built for.

港の船は安全だが、船はそんなために造られたのではない

本学の教職課程も丸4年経ち1サイクルを終了した。処女航海を終え、港で更なる航海への準備をしている。航海には不安に思うことがいっぱいあった。新しい航海に戸惑うこともあった。ただ、教職課程を設置したということは、未知との新しい出会いをするためである。伸ばした望遠鏡を覗いてその奥に見えた未来を夢みただけである。本学の卒業生が学校現場や教育分野の職場などで生き生きと働く姿である。

ただ、航海は順風ばかりじゃない、嵐もあれば風もある。思うように進めないこともある。しかしながら、風は世界を巡っている。その風をうけて進みたい。GPSのナビで設定されたルートを進むのではなく、自分で星を観察し、六分儀、羅針盤を自分で使って、本学教職課程の航海の目的地向かってゆっくりでも着実に進んでいこう。①豊かな人間性と社会性を育む教育理念をもとに厳しく鍛えられた英語力を有する本学の学生の中から、未来を担う生徒の教育に貢献する人材を送り出す。②たとえ教職に就けなかったとしても、世の中に貢献する社会人として、また聡明な親として、地域の教育を支える住民の一人として、学校教育の良き理解者となり、日本の未来をつくる教育を支え充実させる人となるよう養成する。

私たちの航海日誌である2013年度機関誌 Vol.4 に実践記録・実践報告を投稿いただいた坂本美佳先生、松川慈先生、山口朋久先生にお礼申し上げたい。また特別寄稿をいただいた浦川真緒さん、長澤和弥教頭先生にもお礼を申し上げたい。次の航海へと向かう本学教職課程は、明日の教育を考える教育機関としての役割を担うようこれからも着実な歩みを示してゆく所存である。

大阪女学院大学・大阪女学院短期大学

教員養成センター

教員： 中井 弘一、東條 加寿子、中垣 芳隆、夫 明美

事務局： 浅田 晋太郎、田中 礼子



### 大阪女学院大学 教員養成センター・ロゴマーク

本学 (Osaka Jogakuin University) の教員養成センターのロゴマークは、OJUの3つの頭文字を使い、チューバのような大きな楽器ですべてのメロディーのベースとなる音をリズムカルにかつ重厚に奏でているイメージをモチーフにしております。心に響く教育の基盤を築きあげたいとの思いから作成したものです。教員養成センターも Teacher Development Support Center として学校現場の先生とともに明日の教育を担っていきます。

## 大阪女学院大学 教職課程機関誌

### OJU 教職活動報告・研究 Vol. 4

2014 (平成 26) 年 3 月 7 日発行

編集責任者 中井 弘一 (教員養成センター長)

発行 大阪女学院大学・大阪女学院短期大学 教員養成センター

〒540-0004 大阪市中央区玉造2丁目26番54号

電話 06-6761-9371 F A X 06-6761-9373

印刷 (有)ぷりんと工房ヒロノ

〒581-0866 大阪府大阪市天王寺区味原本町4-8 (出口ビル2F)

電話 06-6766-5518 F A X 06-6766-5513